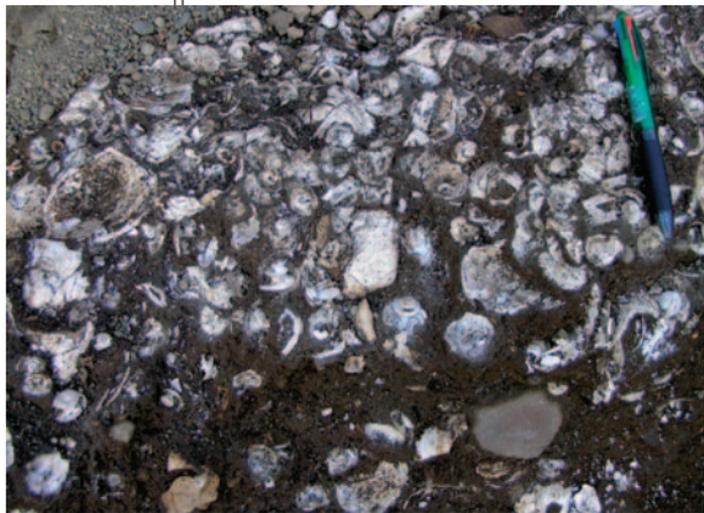


寄贈品コーナー「万田貝塚展」

2007年 8月2日(木)～9月8日(土)



このたび、市内万田にある万田貝殻坂貝塚の発掘調査（担当：玉川文化財研究所）が終わり、出土資料が平塚市教育委員会に戻されました。その出土資料の一部を博物館の寄贈品コーナーで展示し、万田貝殻坂貝塚の概要をお知らせします。

万田貝殻坂貝塚は縄文時代前期の貝塚で、大磯丘陵東端の北斜面（標高約16m）に位置しています。大正14年の東京大学による調査で、砂礫層上位の土器群と、下位で発見された貝塚土器群の形態的差異があることを指摘されました。

今回の調査では、指摘されたように、6か所の貝層と前期遺物包含層、中期～後期を主体とする遺物包含層が検出されるという、大きな成果が

あがりました。貝層サンプルは土嚢袋で約550袋にも及びます。

資料は、土器・石器・骨角器・貝・魚骨・獣骨などを中心に展示します。ボラやカツオを釣り上げたと思われる釣り針、沿岸の砂底に生息するダンベイキサゴやチョウセンハマグリ、クジラ・イルカ・イノシシ・シカの骨など、多様な出土遺物を通して、縄文海進最盛期に生きた人々の日々の暮らしが身近に迫ってきます。この機会に、じっくりご覧ください。